

書き初め

「書き初め」は、古くから日本で行われていた伝統的な年中行事の一つです。平安時代の宮中行事「吉書の奏(きつしよのそう)」が起源だと言われています。元日の朝に初めてくんだ水(若水)で墨をすり、その年の縁起のよい方角(恵方)に向かって新年を祝福する祝賀や詩歌を書いていたことに由来するようです。

3学期に入って全ての学年が書き初めを行いました。今年の目標をフェルトペンで書いた1年生と2年生、筆で半紙に書いた3年生や四半切に書いた4年生・5年生・6年生。皆、真剣な表情で、書き初めを行っていました。



1月17日(火) コサージュ作り (6年)

「つぼみを作るのと枝に葉をつけるのが難しかったけど、母子福祉部のみなさんが分かりやすく説明をしてくださったのでできました。」

「コサージュ作りでは花びらを作るのが一番楽しかったです。卒業式でコサージュをつけるのが楽しみです。」

コサージュ作り後の児童の感想です。母子福祉部のみなさんが、事前にコサージュのパーツを準備をしてくださった上、当日も6年生一人一人に丁寧に作り方を教えてくださっていました。私が驚いたのは、コテを当てて形作りをするところです。一つ一つのパーツが組み合わさってコサージュが仕上がる過程を見て感動しました。母子福祉部の方のお話では20年以上、本校のコサージュ作りに携わってくださっているとのこと。とてもありがたいです。作っている過程を知っているだけに、卒業式でコサージュを身に付けた6年生の姿を見ると、感慨深いものがあるのだろうなと思いました。



1月21日(土)

授業参観

先日はお忙しい中、授業参観にお越しいただきありがとうございました。今回も感染症対策として、参加人数等を制限しての参観とさせていただきました。世間では、いろいろな制限が撤廃されていますが、学校に関してはなかなか元のような形に戻すことができないのが現状です。また、今回は学級PTAの後、PTA各部会において来年度の部長を決めさせていただきました。PTA活動は任意参加ではありますが、学校と保護者が連携して子供たちのために活動することは必要であるという御理解をいただいている方が本校には多く、大変協力的に部長決めがなされたと学級担任から報告を受けています。保護者の皆様に、よりPTA活動に参加していただけるように保護者の方の負担軽減も今後、考えていきたいと思っています。いろいろな御意見があらうかと思しますので、お渡ししているアンケート用紙に御記入いただければ幸いです。

